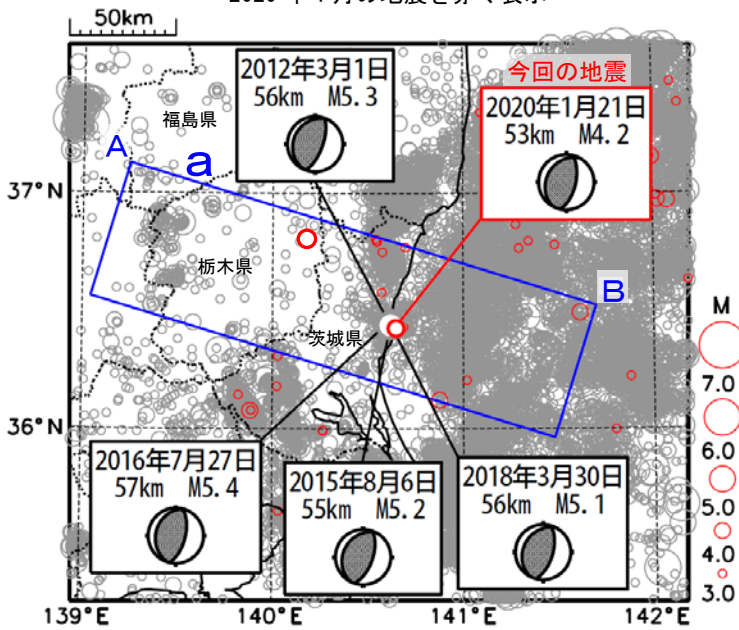
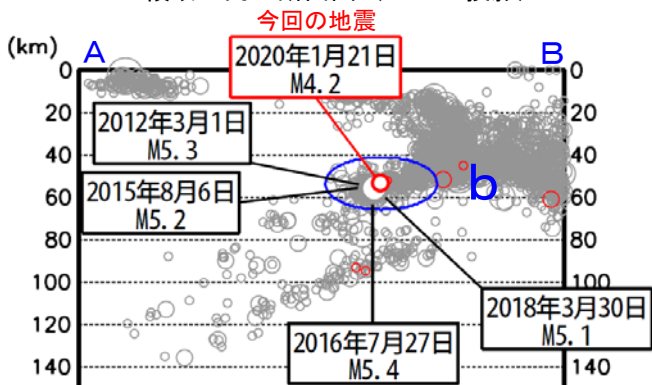


# 1月21日 茨城県沖の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2020年1月31日、  
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$ )  
2020年1月の地震を赤く表示



領域a内の断面図 (A-B投影)

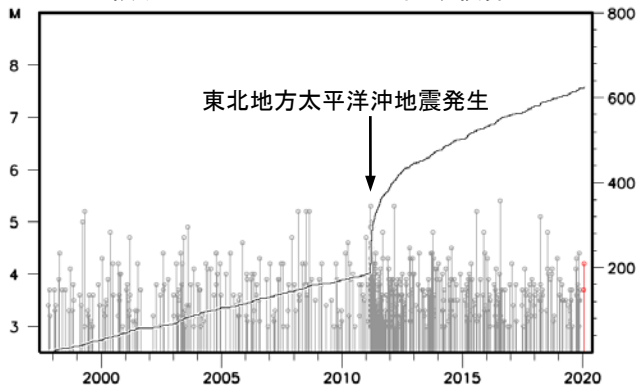


2020年1月21日13時25分に茨城県沖の深さ53kmでM4.2の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

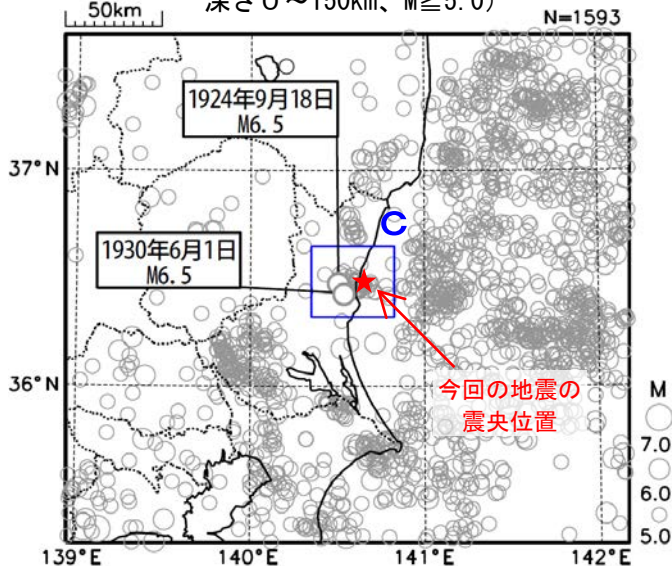
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) は、M5.0以上の地震が時々発生している。東北地方太平洋沖地震の発生以降、活動がより活発になっており、2012年3月1日にはM5.3の地震 (最大震度5弱)、2016年7月27日にはM5.4の地震 (最大震度5弱) が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域c) では、M5.0以上の地震が度々発生しており、このうち、1930年6月1日に発生したM6.5の地震 (最大震度5) では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
(1919年1月1日～2020年1月31日、  
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$ )



領域c内のM-T図

